



1 2 アジア、アフリカ、ヨーロッパなど全世界から多くの留学生が集まる熊本大学。留学生寮である「国際交流会館」には、留学生とその家族などが暮らしており、校区内を外国人が歩くのは、珍しい光景ではない



1 数々の史跡がある黒髪校区。中でも立田自然公園は、地域住民にとっても憩いの場の1つ。細川ガラシャが眠る泰勝寺跡など、四季折々の自然が出迎えてくれる

2 町内の地蔵祭りでは、地域住民が作ったキャンドルアートが訪れる人々の目を楽しませた

3 地域の子どもたちが身近な地域を学ぶ「立田山探検」。森林ガイドから森の楽しみ方などを学び、保護者と共に自然に親しむ機会となっている



自然に親しむ立田山探検

立田 山に親しむ活動として行われているのが、立田山探検です。「子ども

たちに、地域のことを知るだけでなく、生きる意味や誰かの役に立つことの喜びを感じて、考えてほしい」と思っており、青少年健全育成協議会の皆さんを中心に、いろいろな企画を考えています」と伊東さん。この目的を達成するため、立田山の自然や歴史を学ぶだけでなく、地域を流れる白川の清掃など、地域を知り、地域貢献を視野に入れた企画を続けています。

この活動の一つのポイントは、地域住民や地域に関わる組織が、活動をサポートしていること。例えば立田山探検では、立田山を案内するボランティアガイドに加え、熊本県林業研究指導所にガイドを依頼したり、

町内の保護者がウォークラリーのポイントに立ったりして、地域の人や団体とのつながりづくりにも一役買っています。「保護者にとっても、身近な自然を知り、親しむ機会になっており、子どもたちと共に自分が住む地域に誇りを持つきっかけにもなっているようです」。

お隣さんは留学生 気軽に挨拶したい

多く の留学生を受け入れている熊本大学

があるため、黒髪校区は国際色が豊かな町でもあります。通りを歩けば、各国から来た留学生やその家族に出会うのは、珍しいことではありません。「特に第1町内には留学生寮もあり、日常的に外国の方とすれ違いますが、そんな現状を活かし、留学生と道で挨拶し合える関係を作りたいと考えています」と伊東

会長。これまで、民生児童委員と主任児童委員による留学生の家族を対象にした子育てサークル活動などを実施してきました。この活動を一歩進め、今年度企画しているのが、熊本大学と協力した、留学生との異文化交流事業です。今回企画しているのは「食」を通じた交流。年齢を問わず参加してもらうために、最も身近で、最も違いを感じやすい食文化をテーマにしました。「留学生を募集して、日本食と一緒に作ろう」と思っています。日本古来の海苔巻き、稲荷寿しなどを、地域で活動する食生活改善推進員さんたちと一緒に、楽しくやっていけたらいい



黒髪校区自治協議会の伊東孝保会長

いですね」。どんな内容が交流につながるのか、考えながら、企画を詰めているそうです。

「これをきっかけに、さまざまな文化に触れる機会を多く作りたいと思います。せっかくいろいろな国の人に出会うことができるのだから、国際的な考え方に触れてほしいんです。町内にいる人はみんな助け合っている身内だ、という考え方が広まればうれしいですね」と話す伊東会長。「まちづくりの基本は人が仲良くすること」をモットーに、グローバルで柔軟な視点でのまちづくりが展開していきます。

